

ホームと家族を結ぶ

おとぎずり160号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X : 0974(42)4187

E-mail : ninunsou@gmail.com

<http://ninun.or.jp>

編集・発行

任運荘広報委員会

令和2年度
社会福祉法人

任運社敬老会

9月21日(月)の「敬老の日」に『任運社敬老会』が開催されました。今年
は、新型コロナウイルス感染症予防の為に各施設別々で行うこととなり、
任運荘はホールで行いました。

任運社理事長 廣本賢郎より「敬老会は、なぜおめでたいのか。若い者のお世話は先に生まれた者の務めです。皆さんは我が子を育てられ、今は私
たちを育ててくれています。そんな皆さんの後に続く若い者が、感謝の気
持ちを表すお祝いだと私は考えております。任運荘では毎年毎年、敬老
のお祝いを行っており、今年で45回目を迎えます。こうやって何回も顔を
拝見する方が大勢いらつしやいます。また同じように、来年の敬老会でも
皆さんをお祝いでできればと心より思っております」と敬老の言葉を述べま
した。

任運荘で敬祝を受けたのは次の方々です。

【上寿】 佐藤亀代さん (110歳) ・ 児玉ヤチヨさん (102歳)

【白寿】 五嶋ナルコさん (99歳) 【米寿】 後藤千代子さん (88歳)

受賞された方々は前に出て一人ひとり、廣本理事長より敬祝状と記念
品を受け取りました。後藤千代子さんは「ありがとうございます」と笑顔
で答えられました。

続いて任運社よりお祝いの品として、ホールなど車椅子のまま使用がで
きる『フットマッサーシ機』が4台贈られました。利用者を代表して引田ケ
サさんが受け取られ、笑顔でお礼を言われました。

この後、利用者意見発表が行われました。8月に入居された飛賀アヤ子
さんが「私は昭和4年の8月25日生まれで92歳になります。7人兄弟の
下から2番目です。家が農業だったので熊本県の天津農学校に進学し、卒
業後は家の手伝いをしました。旦那とはお見合いでした。大変な時もあり
ましたが、ここまで生きてきました」と述べられました。職員から「旦那さ
んとはお見合いとの事ですが、初恋ですか」と尋ねられ、ご本人も会場の



米寿のお祝いを受けた
後藤千代子さん(88歳)



白寿のお祝いを受けた
五嶋ナルコさん(99歳)



上寿のお祝いを受けた
児玉ヤチヨさん(102歳)



上寿のお祝いを受けた
佐藤亀代さん(110歳)

任運荘からのお知らせ

★館内のWi-Fi環境を整えました！

新型コロナウイルス感染防止のために、面会は窓越しやオンライン通話にてお願いをいたしておりましたが、今までは、館内でのWi-Fi環境が悪く、オンライン通話の場所が限られており、また、オンライン通話時に画面がフリーズするなど、ご家族の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。10月より館内のWi-Fi環境を整えまして、任運荘のどの場所でもオンライン通話が可能となりました。例えば、お母さんのお部屋が見たいとの要望を頂ければ、お部屋にてオンライン通話を行う事も出来るようになりました。

オンライン通話による面会につきましては、これまで通りの予約制とさせていただきますので、予約時にご希望等がある場合はお伝えください。また、ご不明な点等がございましたら、相談員の森か宮崎へご連絡ください。

TEL 0974-42-2338

★看護師よりご家族様へ

この度、看護職として共用の携帯電話を貸与されました。この携帯電話は、利用者の病院受診の際やオンラインで使用することにしております。そこで、ご家族の皆様にご希望があります。病院受診時や緊急時など、この携帯電話よりご家族様へご連絡をする場合がありますので、下記の電話番号の登録をお願いいたします。なお、利用者の状態などのお問い合わせについては、今まで通り、任運荘へご連絡ください。

任運荘 看護師携帯電話 080-1792-8865

★宇宙アサガオの種があります

おとずれ159号で紹介しました『宇宙アサガオ』の種ができました。今度は11代目の『宇宙アサガオ』になります。お譲りいたしますので、ご希望の方は、任運荘の森までご連絡をください。

～面会について～

紅葉も終わりを迎え、日に日に寒さを感じるようになってきました。ご家族の皆様におかれましては、平素よりご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

現在、全国的に新型コロナウイルスの感染者が日々増加しております。大分県におきましても、新規感染者の報告が増えてきている現状です。また、新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行も懸念されます。これを受けまして、面会室での面会を休止いたします。今後は窓越し面会とオンラインによる面会へとさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。そして、ご家族の皆様もどうかお体を自愛下さい。

施設長 吉野 明子

★広報委員のひとり言

世間では『鬼滅の刃』が大ブームですね。映画の興行収入も宮崎駿監督の『千と千尋の神隠し』に迫る勢いです。私の子ども達も『鬼滅の刃』が大好きで、主題歌を歌ったり登場人物の衣装柄のマスクを着用したりしています。私自身は今まで興味がなかったもので、子ども達の鬼滅トックには全くついていきませんでした。最近、少しだけTV版を視聴したのですが、確かに面白くて子ども達がハマるのが分かりましたし、話の内容が深く大人にも人気がある事が分かりました。新型コロナウイルスの感染も広がっているため、家で『鬼滅の刃』のDVD観賞をしようかと考える今日この頃です。

皆さんも大笑いしました。席に戻られた飛賀さんが「こんなもんでいいな」と心配されてましたが、「大変素晴らしいかったです」と職員が伝えると笑顔をくれました。

最後はお楽しみ会が行われ、工藤若美寮母が『岸壁の母』と『おてもやん』の2曲の踊りを披露しました。利用者は笑顔で手拍子をされ、男性利用者は涙を流す方もいました。3曲目は職員全員で『ごほう音頭』を披露し、とても楽しい時間を過ごしました。利用者代表として佐保ハツ子さんが「いきなりでも考えておりませんが、おめでどうございませう。これからも皆さん健康で頑張ってください。ありがとうございます。もう戻らして下さい」と、しっかりと挨拶と笑いをくれました。

最後に吉野施設長より「本日は敬老の日おめでとうございます。実は任運荘は毎日敬老の日なんです、という気持ちを持って、寮母・看護師・厨房職員等と働いています。しかし、今日は敬老の日ということで、小さいですがお祝いを行わせていただきました。例年は大きな会場で、全体で行いますが、今年は新型コロナウイルスの影響で小規模の敬老会でしたが、楽しめましたか。皆様の平均年齢は91歳です。不自由なこともあると思いますが、生きること、願う事、生きるということ、毎日何かしらの小さな願い事がある、叶ったり叶わなかったりと職員はその願いを少しでも実現できるように努力してまいります。本日は本当におめでどうございませう」との挨拶にて敬老会を終了しました。

担当 敬老会実行委員

社会福祉法人

任運社初盆供養・盆踊り

8月17日(月)の18時30分より、初盆を迎えられた利用者をお慰めする『任運社初盆供養・盆踊り』が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症防止の為に、仏間での供養経は10数名の集まりとし、盆踊りは各施設での開催となりました。

初盆供養会は騰々舎の児玉寮母の司会で始まり、初盆供養者は任運荘9名・騰々舎2名の方々を紹介されました。大福寺の東住職による供養経が静かに行われました。職員が香炉を持ってまわり、参加した利用者は一人ひとり焼香されて静かに手を合わせてました。仏間に行かなかった利用者には、ホールで初盆供養者の紹介を行いました。

供養経を終え、各施設へ利用者が戻り揃ったところで盆踊りを開始しました。今年も『しあわせ音頭』『ゆかた音頭』『火の国太鼓』の3曲を、利用者が作る輪の内側で、色とりどりの浴衣姿の職員が踊りました。利用者は、手拍子をしたり職員を見ながら手を動かしたりしていました。

3曲踊り終わると、利用者へ冷えた甘酒が振る舞われ、「おいしいや」「おかわり」の声が聞かれました。その後、再び3曲踊りましたが、一度目より職員は踊りが上達していて、利用者からは、大きな掛け声や手拍子が起きてました。今年は花火大会が中止となりましたが、利用者の皆さんは終始笑顔でした。

最後に廣本理事長が閉会の挨拶を行い、盆行事は無事に終了しました。

担当 盆行事実行委員



供養会にて 志賀フキエさん 盆踊りの様子(上・下)



高山ヒサコさん



※任運荘で初盆を迎えられた9名の方々です。

- 工藤 幸子氏 (98歳)
- 渡邊 八重氏 (94歳)
- 後藤 二三氏 (94歳)
- 田部 八千代氏 (99歳)
- 小野 春子氏 (91歳)
- 田北 ナツミ氏 (100歳)
- 柿原 幸夫氏 (95歳)
- 橋爪 照数氏 (95歳)
- 衛藤 文子氏 (100歳)

穴見富貴子さん 甘酒美味しかったですか

令和2年度

任運荘運動会

《小さな運動会でも大きな笑顔》

10月11日(日)に任運荘ホールにて、運動会が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染防止の為に各施設での開催となりました。

地域福祉推進室の橋本室長の開会宣言が始まり、昨年優勝の白組団長の引田ケサさんが優勝杯の返還を行いました。主催者挨拶で廣本理事長から「例年は任運社合同大運動会ですが、今回は任運荘運動会となりました。小さな運動会でも皆さん、大きな笑顔を目指して頑張りましょう」と激励の言葉がかけられました。

選手宣誓では、赤組団長の飛賀アヤ子さんが「最後まで諦めず、頑張ることを誓います」と大きく元気な声で宣言しました。準備体操では、職員が小さな相棒、子ぶたの『体操ブーブー』を連れて運動会を大いに盛り上げてくれました。



赤・白応援団長による選手宣誓



体操の時より気合い十分の村上昌子さん

最初の競技は『とつたが勝ち』です。これは、赤組白組の選手が向かい合い、お互いにじゃんけんをして、勝った方が相手チームのリングを勝ち取る、いわゆる騎馬戦と同じ戦い方です。騎馬戦に負けたくないくらいの迫力で「あなたは後だしやっただ」もう一回」と白熱した声が響いてました。

2番目の競技は『うまく入れてね』です。これは、動く三角コーンに目掛けて輪を投げ入れる競技です。三角コーンを動かすのは、職員の応援団長ですが、相手の色のコーンを動かします。利用者は動く三角コーンに輪を入れようと必死で、前に身を乗り出したり、狙いを定めて入れようとしたりと様々でした。「もつとゆつくり動いて」と言われる利用者もいて、とても盛り上がりました。

3番目は、職員によるアトラクションです。今年は『長生きサンバ』を踊りました。この曲は、いつも利用者の皆さんが歌っている『我ら人生六十から』のサンババージョンです。いろんなコスチュームに身を包んだ職員が踊るダンスに、利用者は手拍子をされたり一緒に手を動かされたりして、ホールは熱気に包まれました。

最後の競技は『運命の配達人』です。これは封筒を受け取った人が、中に入っている指示に従うというものです。誰が受け取り、どんな指示が待っているのかわからない運命競争です。封筒を受け取った職員は指示に従って、利用者の肩を叩いてあげたり、足のマッサージをしてあげたりと様々な光景が見られました。中には、素敵な冬服のコーディネートをしてもらい、服に負けたくないくらいの素敵な笑顔を見せてくれる利用者もいました。

その後、利用者全員が参加して『食欲の秋』と題するおやつ取りをして、全ての競技・アトラクションが終了しました。



佐藤静子さんは背中マッサージ



職員も仮装してアトラクション



平井綾子さん、上手いよ



小深田敏明さん、勝利で男泣き



深田アイ子さんは足のマッサージ



廣本理事長も仮装して参加



三代智子さん、入ったかな？



橋本恵美子さん、勝ったのかな

スイカ割りしました

〜 コロナ禍のうつぷんをスイカにぶつけました! 〜



加藤スマコさん、そこでいいですか？



羽田野キミ子さん、「やあ！」と棒を一振り



西博美さん、優しすぎます！スイカは割れませんよ



河原雪夫さん、気合い十分です！



引田ケサさん、良い笑顔ですね



佐藤秀子さん、2個目だったかな



芦刈トヨさん、美味しいですか？

毎月の第3木曜日に、任運社の各事業所の代表者と任運荘・騰々舎の利用者代表者、そして第三者委員で『任運社福祉サービス相談委員会』が行われています。この委員会は、任運社が実施する福祉サービスの利用権を守り、自由・人権・プライバシーが確保されているかを点検すると共に、福祉サービス受給過程における様々な苦情の救済および暮らしの相談などを目的として設置されております。また、各事業所における介護事故報告やヒヤリハット報告の検証を行い、同じ事故等が起きないように対策をたて、第三者委員からも意見をいただいております。

ご家族の皆様は、苦情や相談などを第三者委員へ申し立てる事ができます。契約時に説明しました重要事項説明書に連絡先を記載しておりますので、ご確認ください。



工藤 直実 委員長 (写真 左)

田部 あや子 委員 (写真 右)

第三者委員紹介

任運社福祉サービス相談委員会

後藤 イサヲさん



昭和3年10月2日(92歳)

声を掛けると笑顔で頷いてくれます。「あんたは緒方?」と、皆さんに話しかけています。

担当寮母 小林 美悠

嶺 ハ千代さん



大正14年10月8日(95歳)

誕生日会では、皆さんにお祝いされ、そして素敵なプレゼントも頂いて、とても喜ばれました。

担当寮母 佐藤 美和

伊東 晴子さん



昭和16年10月29日(79歳)

「おはようございます」と朝の挨拶をすると「おはよう」と、笑顔で返事をしてくれます。その笑顔で一日頑張れます。

担当寮母 伊東 菜保美

和田 静子さん



昭和5年10月30日(90歳)

ホールで皆さんとおやつを食べられます。娘さんからの差し入れの時はいつも以上に「美味しい」と言われます。

担当寮母 長門 昭子

11月生

三代 智子さん



昭和9年11月11日(86歳)

声を掛けるといつも笑顔で話してくれます。帰る時は「気をつけて帰るんで」と、私たちを気づかってくれます。

担当寮母 酒井 結奈

佐保 ハツ子さん



大正11年11月17日(98歳)

「いつも、いろいろして下さいありがとうございます。もう、98歳にもなります。こんな年まで生きるなんて思いもしなかったわ」と笑顔で話されます。

担当寮母 羽田野 弘美

引田 ケサさん



昭和5年11月20日(90歳)

毎朝早起きをされます。そして、ご家族の健康を願いい、仏様にお参りに行かれます。引田さんの一日の始まりです。

担当寮母 佐藤 美和

岡田 みち子さん



昭和5年11月22日(90歳)

声を掛けるとしつかり頷いて返事してくれます。ご飯を食べることが大好きです。

担当寮母 西原 怜菜

佐藤 静子さん



昭和2年11月30日(93歳)

ご飯をしっかりと食べられるので、とても元気に毎日を送っていられます。声かけをする時々ですが「はい」と返事してくれます。

担当寮母 小林 美悠

年齢は令和2年11月末現在



今年も白組の優勝でした



伊東晴子さん、しっかり取ってね



柴田民子さん、「これが美味しい」



衛藤キヨさん、美味しそうなゼリーですよ

すべての競技が終了し、閉会式で白組の優勝が発表されました。廣本理事長より優勝杯が白組団長の引田ケサさんに手渡され、ホールに大きな拍手が響き渡りました。惜しくも敗れた赤組団長の飛賀アヤ子さんからは「これは勝負だから負けるのは仕方ない。来年は勝ちます」と、来年に向けての意気込みが聞かれました。職員による手作りの小さな運動会でしたが、利用者は大きな笑顔の花を咲かせてくれました。

運動会の後は、厨房手作りの美味しい弁当に舌鼓を打ちました。「巻き寿司が美味しい」や「煮物がいいのよ」と、皆さんから大好評のお弁当でした。

担当 運動会実行委員

誕生者紹介

9月生

佐藤 秀子さん

昭和6年9月11日(89歳)

いつも素敵な笑顔を見せてくれます。その笑顔に職員は癒されます。

担当寮母 酒井 結奈

児玉 ヤチヨさん

大正7年9月12日(102歳)

「児玉さん」と声かけすると、ゆつくりと目を開けられ見つめてくれます。

担当寮母 高橋 みのり

佐藤 亀代さん

明治43年9月13日(110歳)

「佐藤さん」の声かけに「はい、はい」と、元気な声でしゃかりと返事をしてくれます。お食事でも毎食完食です。

担当寮母 伊東 菜保美

村上 昌子さん

昭和11年9月23日(84歳)

ホールでは、よく歌をうたってくれます。とても穏やかな方で、職員を気づかい「ありがとう」と、いつも言われます。

担当寮母 酒井 結奈

後藤 ツユ子さん

大正14年9月28日(95歳)

先日、かぼすブリのお寿司を食べて「これは本当に美味しいなあ」と喜ばれていました。

担当寮母 高山 悦子

10月生

佐藤 シズコさん

昭和11年10月1日(84歳)

訪室した際、声をかけると笑顔で答えてくれます。その優しい笑顔に元気をもらい、心が癒されます。

担当寮母 馬場 由希子